

平成 24 年 11 月 22 日

各 位

会 社 名 昭和ホールディングス株式会社
代表者名 代表執行役社長 重田 衛
(コード番号 5103 東証第二部)
問合せ先 執行役財務総務担当 庄司 友彦
(TEL. 04-7131-0181)

カンボジアでのスポーツ支援について

～グループ各社がサポート、テニスの福田勝志選手が大躍進～

当社グループでカンボジア王国において、ファイナンス事業を展開しております GL Finance PLC (以下 GLF) は、プロモーション活動の一環としてカンボジアテニス協会に協賛、ATP (Association of Tennis Professionals) が主催し、プノンペンで行われました世界トッププロの公式トーナメント、Futures を開催しております。

トーナメントは 11 月 19 日より開催され、世界各国から出場選手が集り、日本からは当社の親会社である昭和ホールディングスグループの 1 社で、スポーツ事業を担う株式会社ショーワコーポレーションがサポートするプロテニス選手、福田勝志選手が出場しております。福田選手は初戦でウズベキスタンのデビスカップ (国別対抗戦) 選手 Sarvar Ikramov と対戦、見事に勝利を収めております。また 2 回戦においても福田選手は新進の中国人選手 Wang Hufu に大差で勝利し、ベスト 8 に進出しました。

36 歳でありテニス選手としてベテランの域にある同選手の鮮やかな活躍に「The most popular winner of the day (今日 1 番注目された勝者)」「Fukuda works Japanese magic (福田は日本の魔法をかける)」と現地メディアにも大きく取り上げられております。

当社グループは協力し、さまざまな取り組みを通じて日本及びアジア各国での事業展開を相乗的に図ってまいります。また同時にスポーツ領域のサポートについては、グループの支援が、選手各位の一層の活躍につながり、またその活躍が当社グループの各員のさらなる士気向上につながることを強く期待しております。

また、これらの活動が当社グループの中期経営計画である「アクセルプラン 2012」の「スポーツコミュニティーのプロモーター」「世界の時間をワクドキで埋め尽くす」「アジア草の根経済発展の原動力」という各事業のミッションを果たすために大きく資するものと確信しております。

ご参考までに現地での掲載記事をご紹介します。

プノンペンポスト掲載記事①

URL:

<http://www.phnompenhpost.com/index.php/2012112059838/Sport/chinas-gao-topples-top-seed-at-cambodian-futures-tennis-event.html>

〈日本語訳〉

今日 1 番注目された勝者は、日本人ベテラン選手、福田勝志だ。36 歳の彼は本戦出場選手の中で最年長だが、第 7 シードの Sarvar Ikramov 選手 (ウズベキスタン) を 6-3、6-3 で圧倒し、TFC (Tennis Foundation of Cambodia) からの推薦 (ワイルドカード) 出場にふさわしい実力を証明してみせた。

日本人の少人数でも元気っぱいの声援を受け、およそ 15 年間プロトーナメントに出場してきた不屈の福田は、不利な状況に陥ることなくラリーのペースを支配し、彼の有利なペースで試合を運んだ。

「ワイルドカードでの出場機会を与えてくれた TFC に感謝いたします。そして、APF (Asia Partnership Fund) と会長の此下益司氏に長年に渡りスポンサーとして支援頂いていることを深く感謝いたします。」と福田は Phnom Penh Post に答えた。

福田のフューチャーズシリーズにおける最高成績は、2002 年中国での大会で決勝進出である。

プノペンポスト掲載記事②

URL:

<http://www.phnompenhpost.com/index.php/2012112159870/Sport/michon-wins-battle-of-french-southpaws.html>

〈日本語訳〉

福田が日本の魔法をかける

テニスで戦って行くのに、何歳になると年の取り過ぎになるのだろうか？

片手にワイルドカードをしっかりと握り締め、福田勝志はセカンドラウンドでの対戦相手、19歳の Wang Hufu 選手(中国)に対して、36歳はまだ峠を越えていないと見せつけた。

試合の状況は先生と生徒の戦いのようであり、経験が若さを大きく打ち負かしてしまった。

見事なコート使いやコントロールのセンスを見せつけた日本人ベテランは、7-6、6-0 のストレートセットでのすばらしい勝利を成し遂げた。

中国人若手選手のプレーが良くなかったわけではなく、日本のベテラン選手が試合中を通して、常に、より良いパフォーマンスを続けた結果だった。

羽毛のような軽さの力しか入れていないような印象を与える福田のやわらかいタッチのストロークは、明らかに Wang 選手の不意を付き、意気消沈させた。

福田がこの記念すべきセカンドラウンドの勝利で見せた、確実にボールを生かす芸術は、中国人の若手プレイヤーには良いレッスンになった。福田は、次の準々決勝で Santiago 選手 (アメリカ) と対戦する。

カンボジアテニス協会：<http://tennisfederationcambodia.com/>



〈Futures トーナメントでの福田勝志選手〉

以上